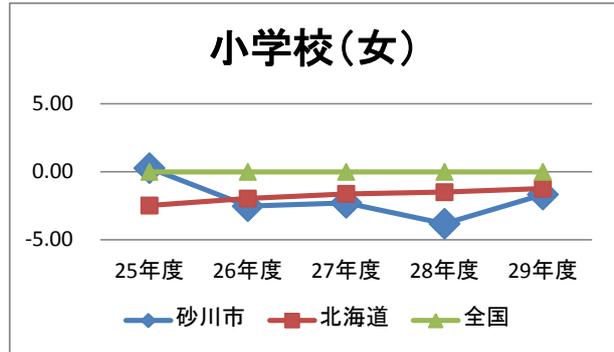
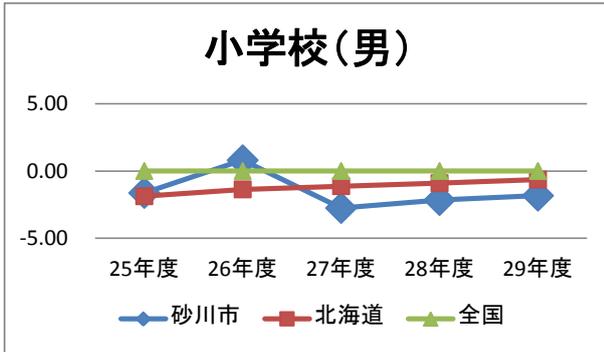
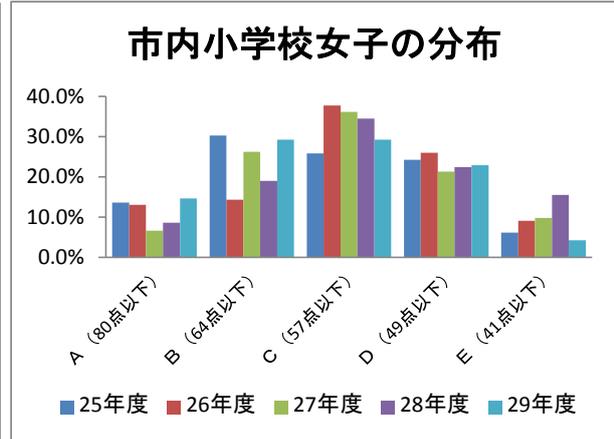
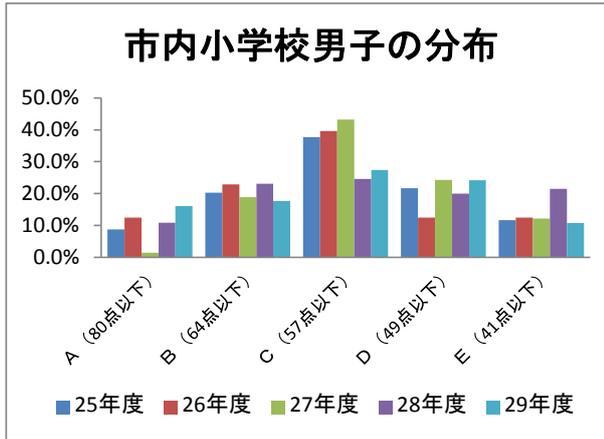


小学生の体力【学校数5校：123名（男子68名、女子55名）】

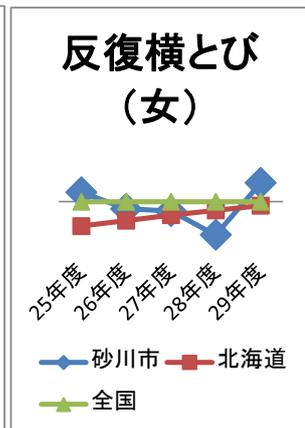
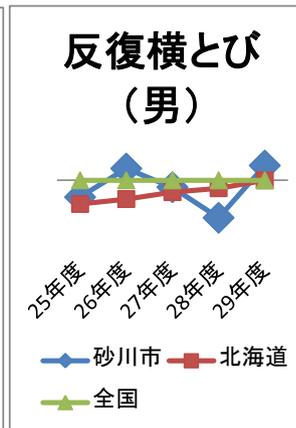
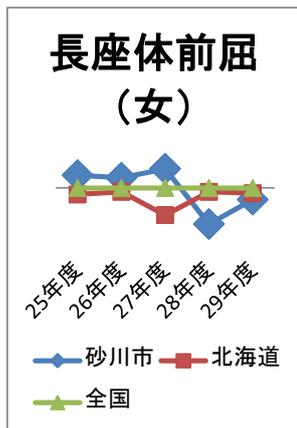
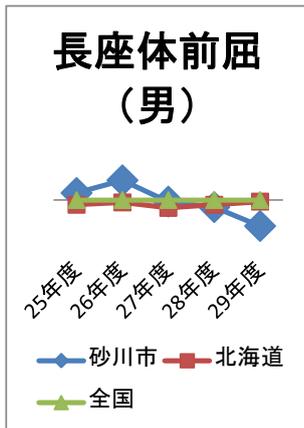
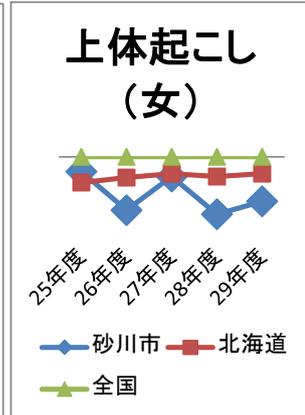
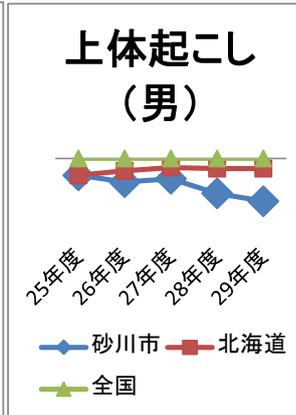
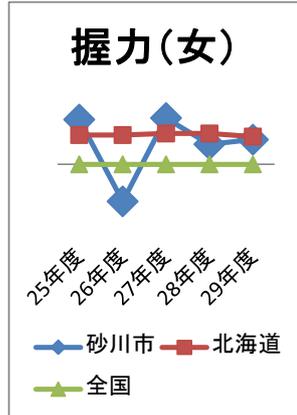
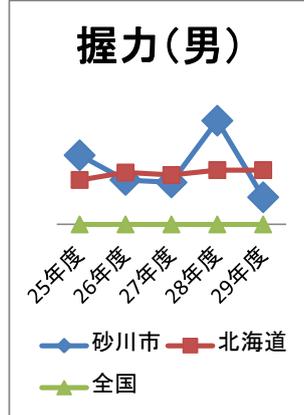
1 体力の合計点【全国平均値との差：経年推移】

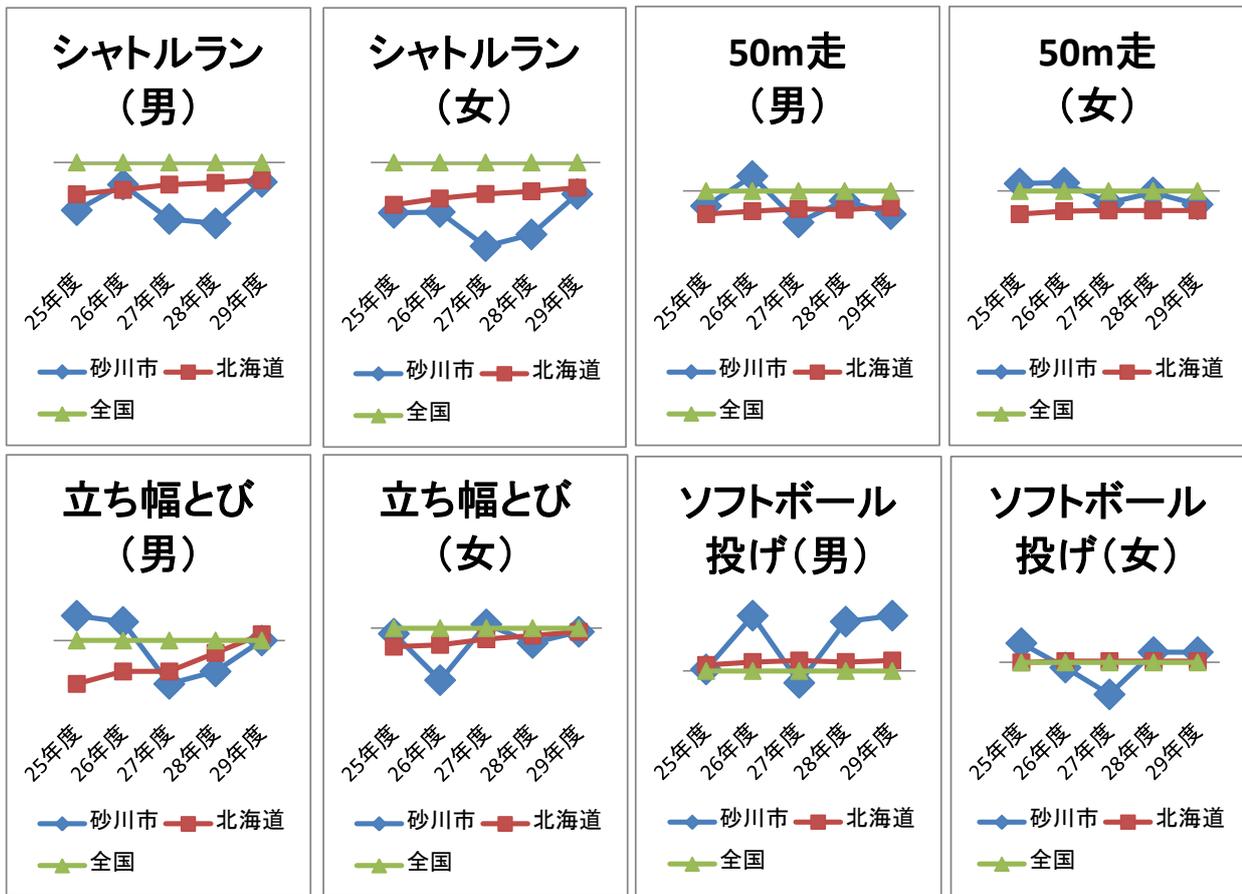


2 市内児童の体力総合評価【5段階評価：経年推移】 * 80点満点

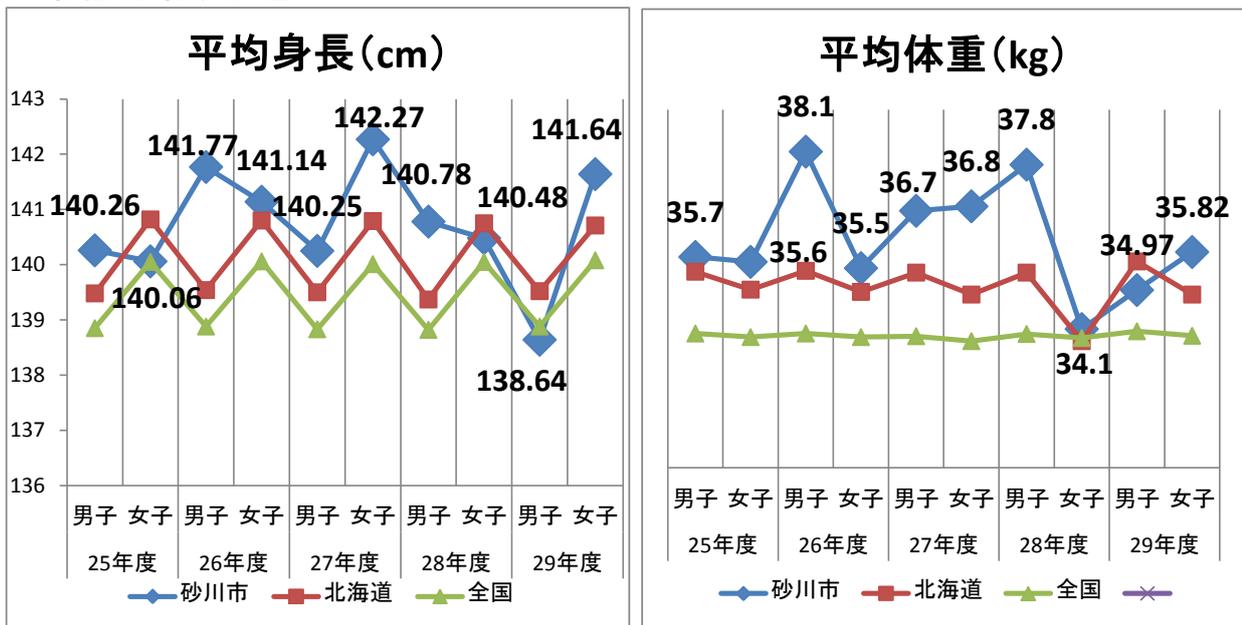


3 各種目の状況【全国を50とした時の偏差値(T得点)との差：経年推移】





4 体格等に関すること

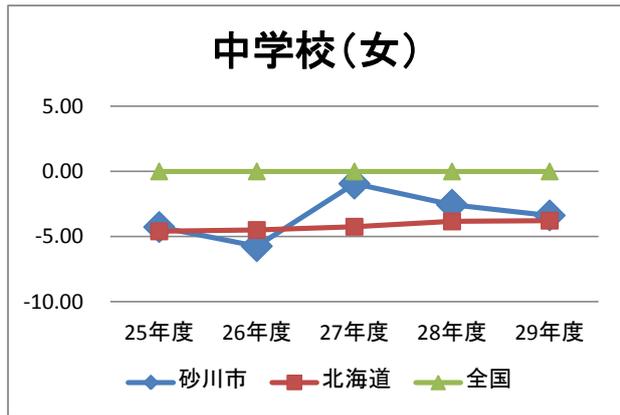
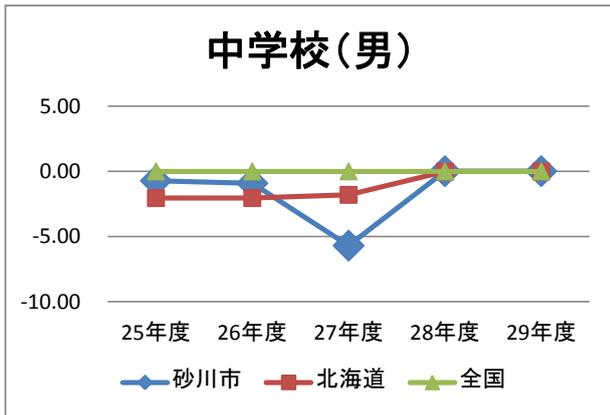


5 分析結果と今後に向けて

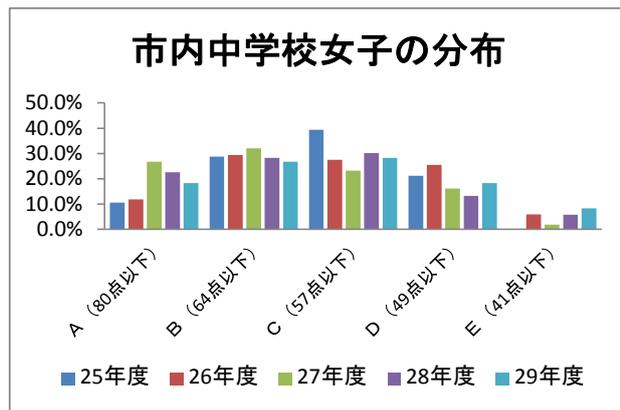
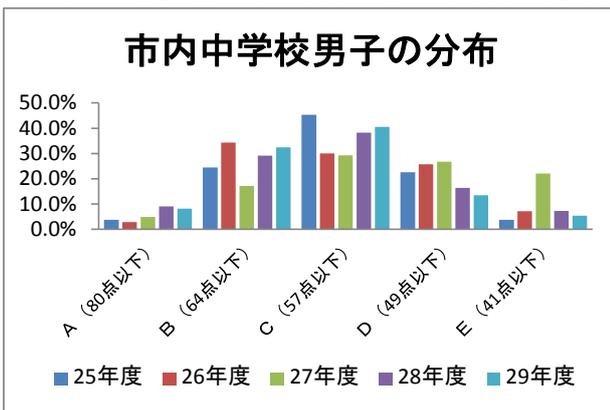
- 男子については、握力、反復横とび、ソフトボール投げが全国平均を上回り、立ち幅とびが全国平均とほぼ同程度の結果となった。
女子については、握力、反復横とび、ソフトボール投げが全国平均を上回り、長座体前屈、50m走、立ち幅とびが全国平均とほぼ同程度の結果となった。
- 市内全体の結果として、総合評価でD・E(49点以下・41点以下)の児童が約3割を占めている状況にあることから、学校はもとより家庭・地域と連携した運動機会の充実を図る取組を推進していくことが必要である。
- 筋持久力が必要となる「上体起こし」と、全身持久力が必要である「シャトルラン」については、依然として全国平均を下回っているが、改善の傾向が見られていることから、引き続き、持久力を付ける運動を意図的・計画的に体育の授業等の中で取り扱っていくことが必要である。

中学生の体力【学校数2校：134名（男子53名、女子81名）】

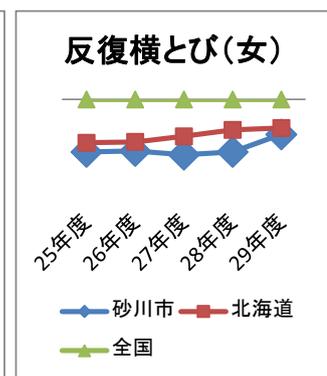
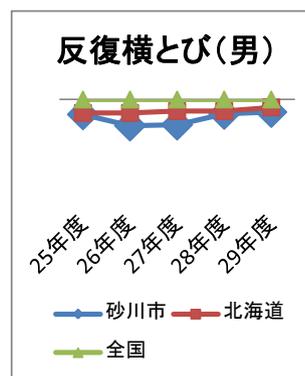
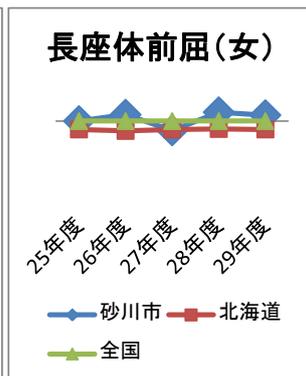
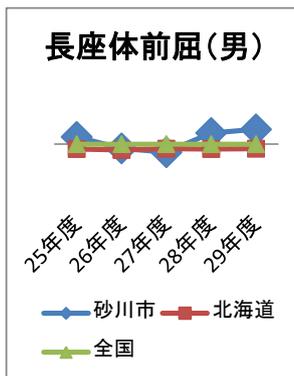
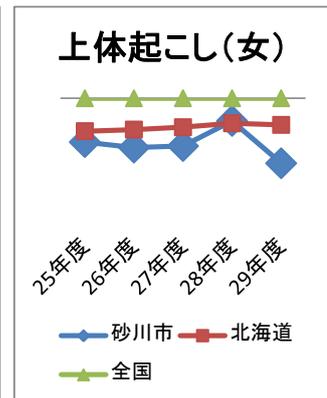
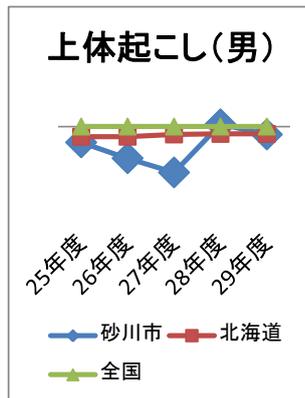
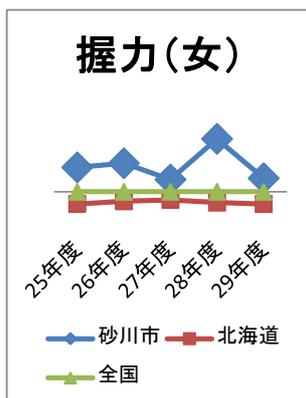
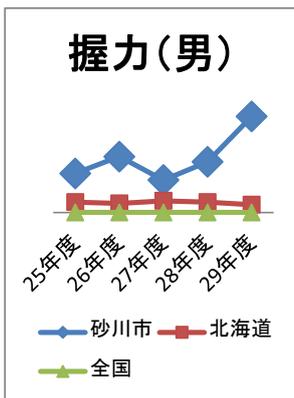
1 体力の合計点【全国平均値との差：経年推移】

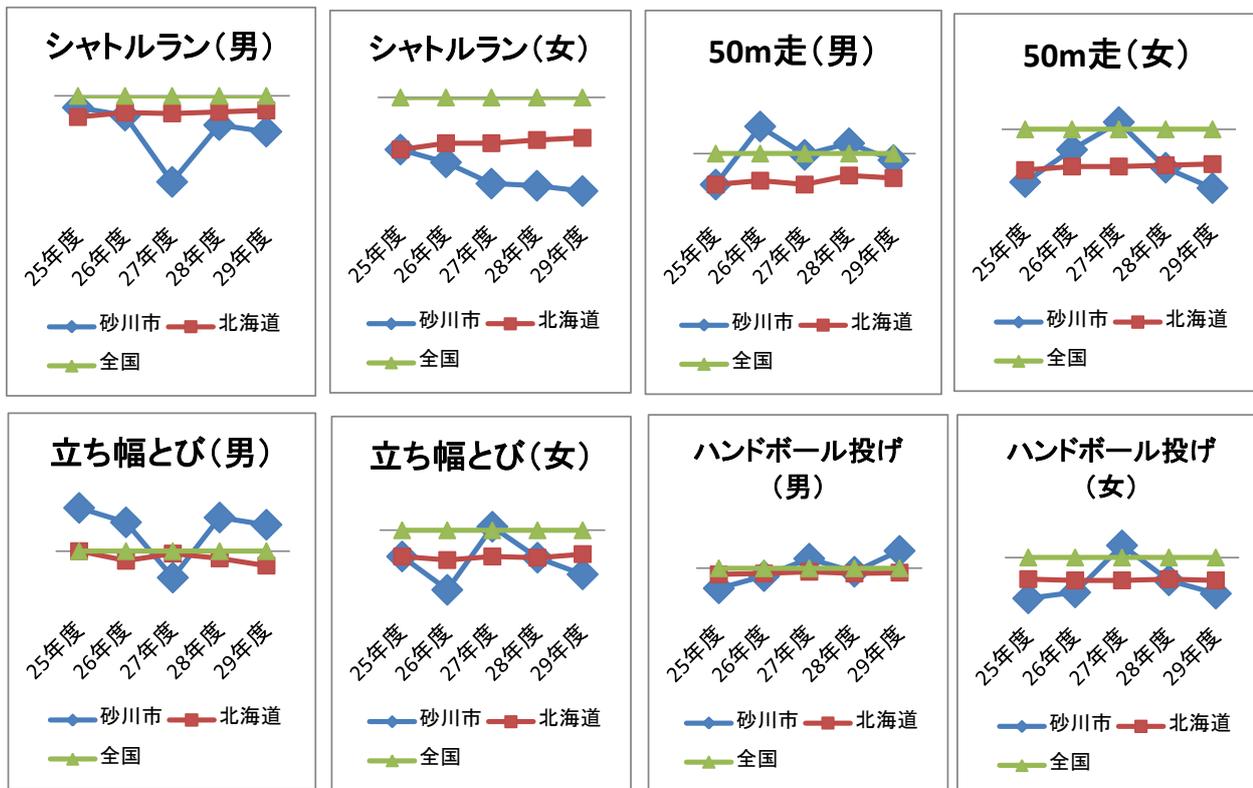


2 市内生徒の体力総合評価【5段階評価：経年推移】 * 80点満点

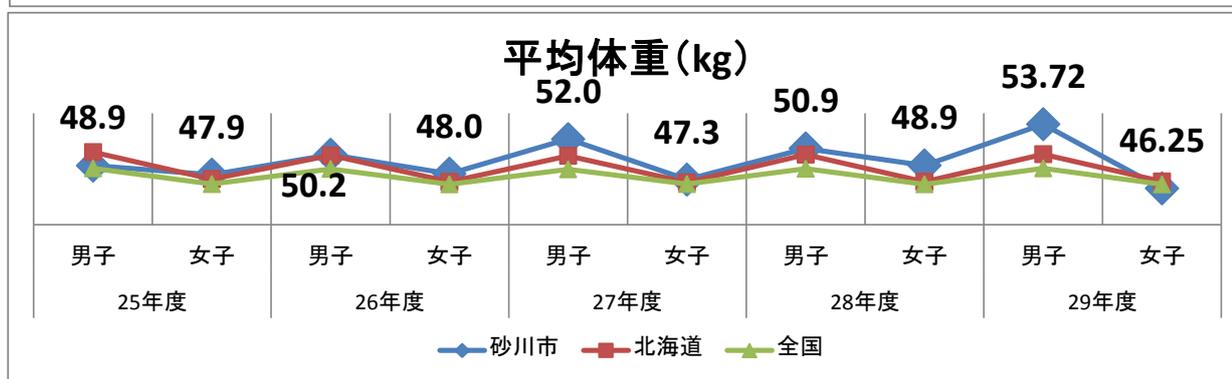
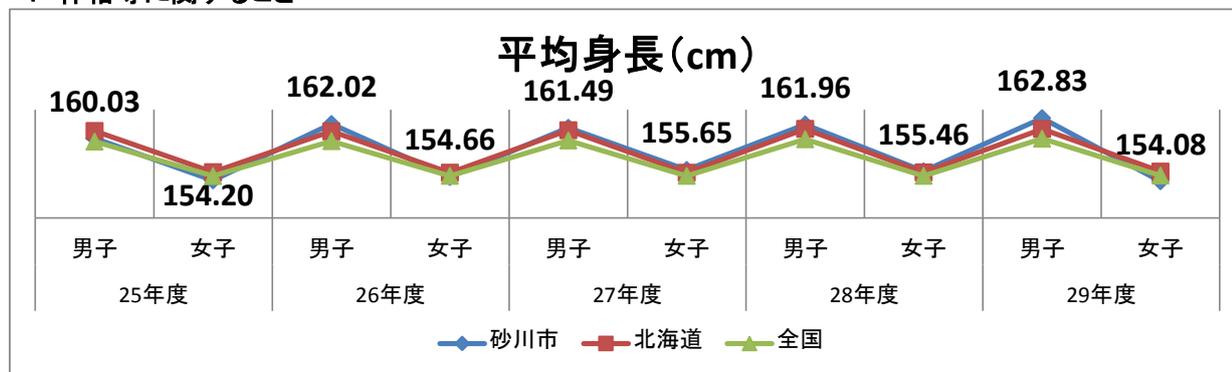


3 各種目の状況【全国を50とした時の偏差値(T得点)との差：経年推移】





4 体格等に関すること

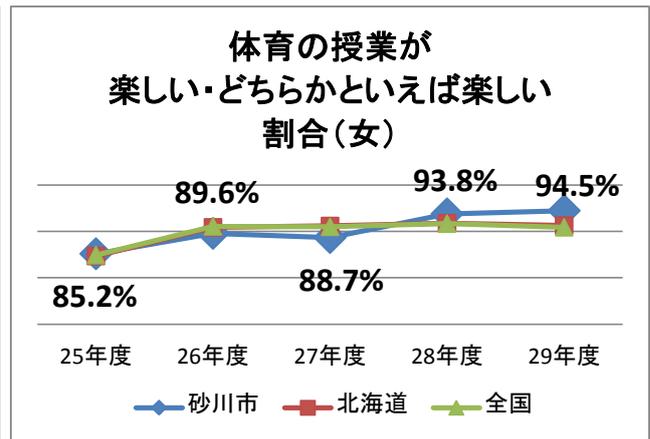
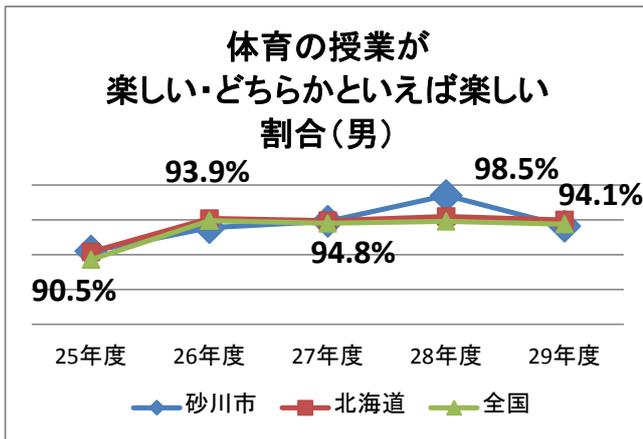


5 分析結果と今後に向けて

- 男子については、握力、長座体前屈、立ち幅とび、ハンドボール投げが全国平均を上回り、上体起こし、反復横とび、50m走が全国平均とほぼ同程度の結果となった。そのため、体力の合計点が全国平均と同程度の結果となった。
女子については、握力、長座体前屈が全国平均を上回った。
- 女子については、ほとんどの種目において全国平均を下回っていることから、学校はもとより家庭・地域と連携した運動機会の充実を図る取組を推進していくことが必要である。
- 全身持久力が必要である「シャトルラン」において、男子は若干の改善が見られるが、依然として全国平均を下回っており、特に女子については年々、全国との差が広がってきている状況にあることから、今後、持久力を付ける運動を意図的・計画的に保健体育の授業や運動部活動の練習の中で取り扱っていくことが必要である。

小学生・質問紙【学校数5校：123名（男子68名、女子55名）】

1 体育の授業に関する意識について



2 体育の授業中、できなかったことができるようになったきっかけについて

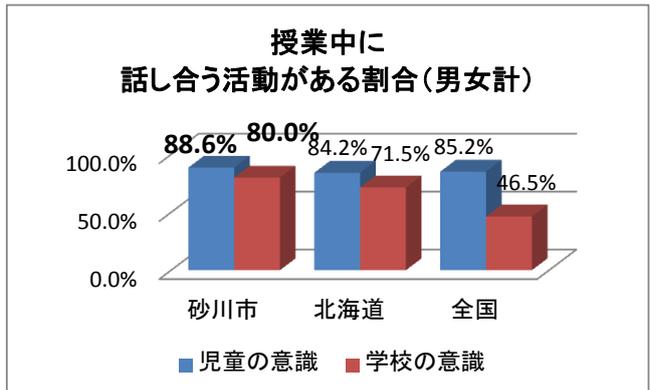
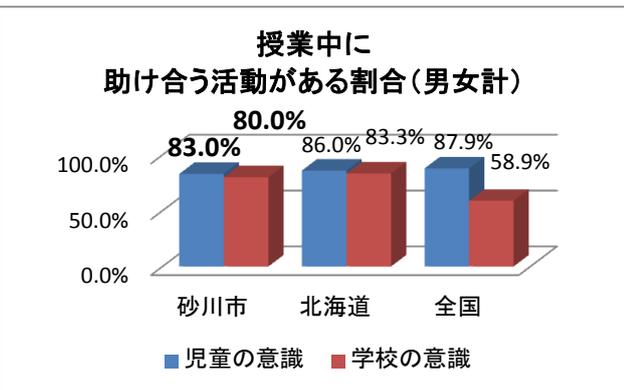
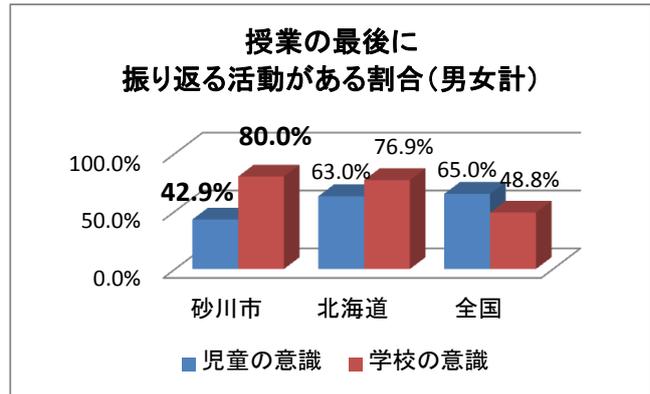
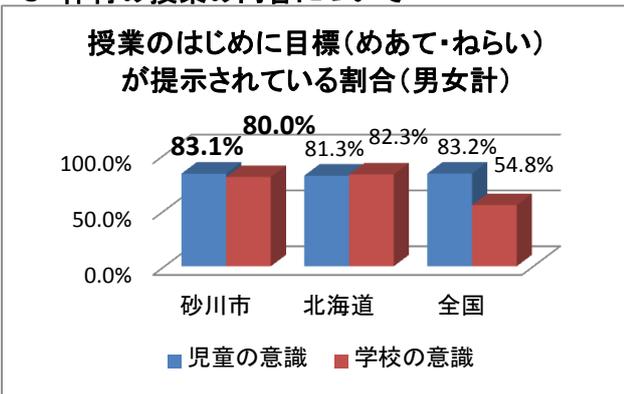
男子児童の割合 * 複数回答有

授業中先生に個別にコツやポイントを教えてもらった	55.9%
先生や友達のまねをした	39.7%
友達に教えてもらった	33.8%
授業外で自分で練習した	29.4%
授業中自分で工夫した	27.9%
授業外で自分で本やビデオを見た	14.7%
授業外で先生に教えてもらった	5.9%
できるようになったことがない	5.9%
授業中に自分の動きをビデオで見た	2.9%
自分に合った場やルールが用意された	1.5%

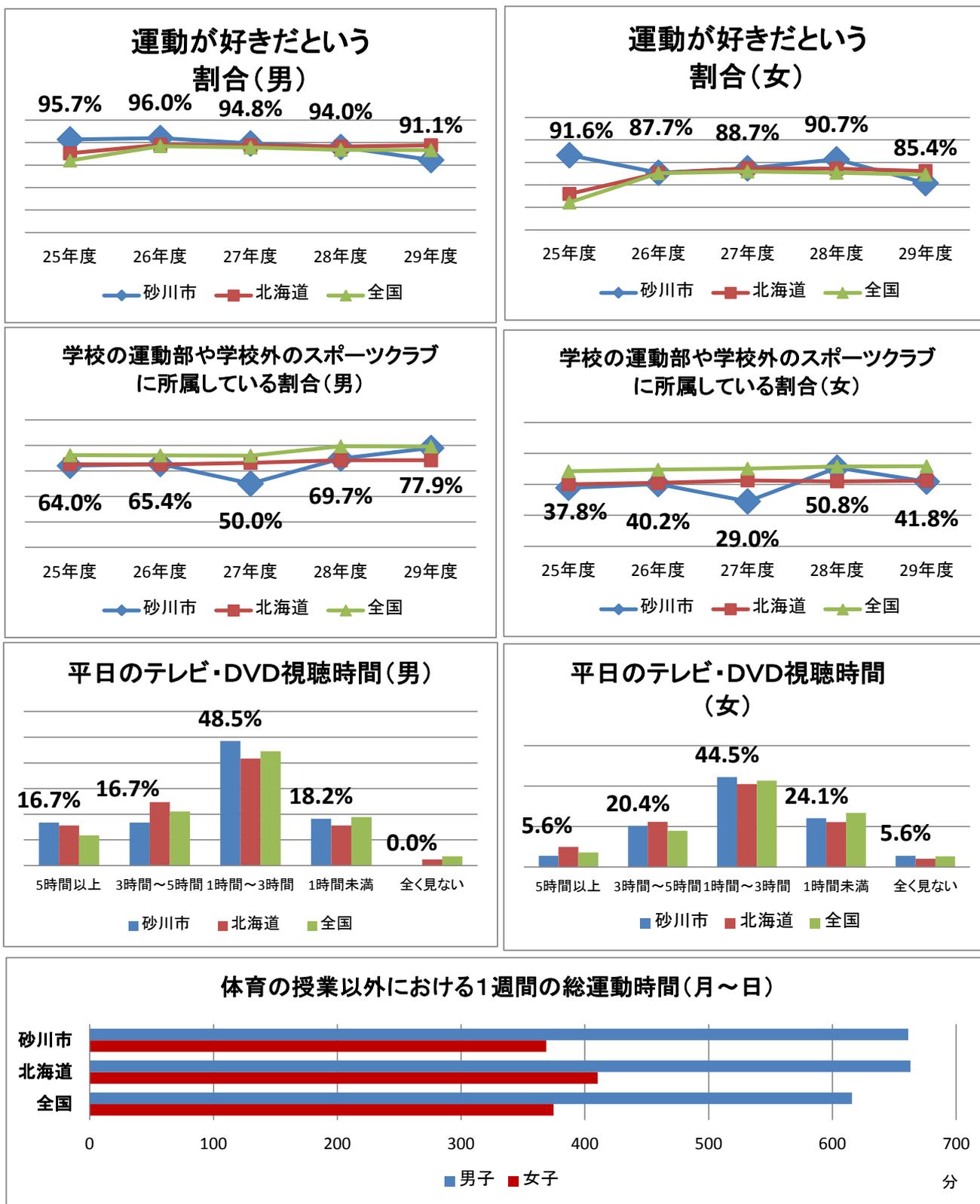
女子児童の割合 * 複数回答有

先生や友達のまねをした	54.5%
授業中先生に個別にコツやポイントを教えてもらった	52.7%
友達に教えてもらった	50.9%
授業外で自分で練習した	43.6%
授業中自分で工夫した	25.5%
授業外で自分で本やビデオを見た	14.5%
授業外で先生に教えてもらった	10.9%
自分に合った場やルールが用意された	3.6%
授業中に自分の動きをビデオで見た	3.6%
できるようになったことがない	1.8%

3 体育の授業の内容について



4 からだを動かす遊びを含めた運動やスポーツ、生活習慣の状況について

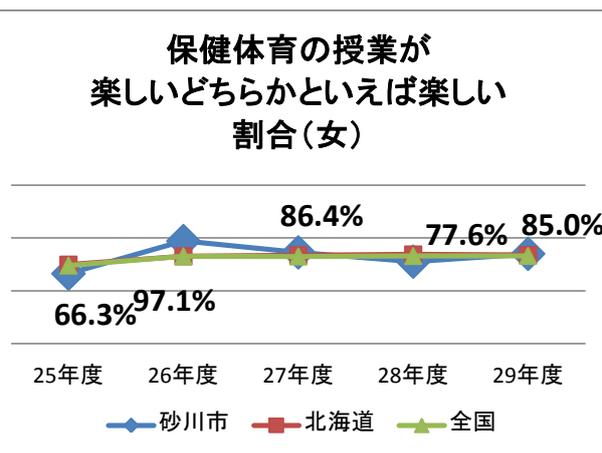
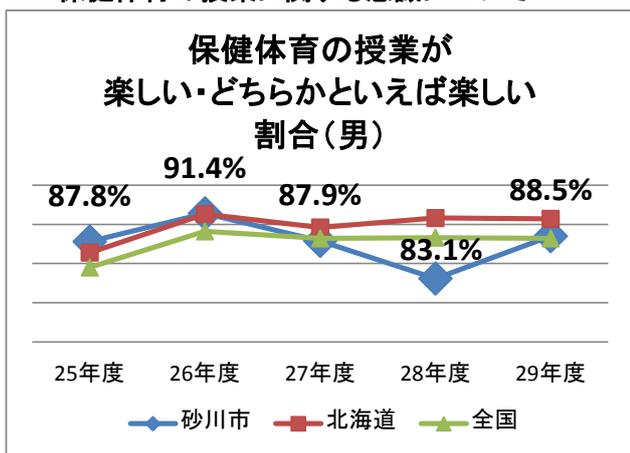


5 分析結果と今後に向けて

- 体育の授業中にできるようになったことがないと回答している生徒の割合が、男子で5.9%、女子で1.8%いることから、児童の運動能力に応じたきめ細かな指導を行うなどの授業の質的改善が必要である。
- 学校全体で、授業中にコツやポイントを重点的に教えるとともに、児童自らが工夫して行えるようにする指導の充実に努めたことにより、児童が体育の授業の中で助け合ったり話し合ったりする活動を行うようになったと考えられる。
- 体育の授業の最後に振り返る活動があると回答している児童の割合が全国平均を大きく下回っていることから、定着の時間を十分確保する授業改善が必要である。

中学生・質問紙【学校数2校：134名（男子53名、女子81名）】

1 保健体育の授業に関する意識について



2 保健体育の授業中、できなかったことができるようになったきっかけについて

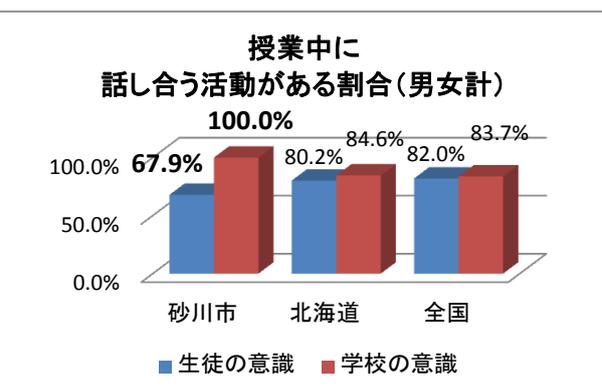
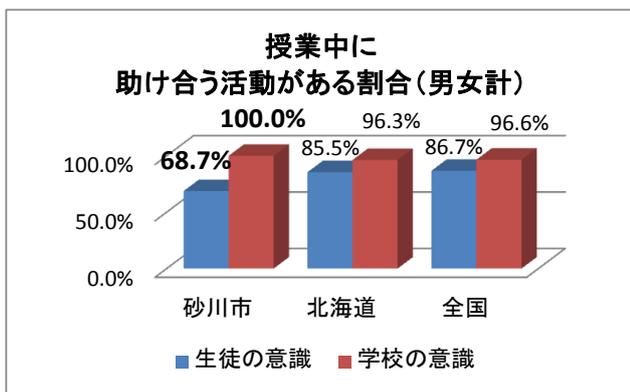
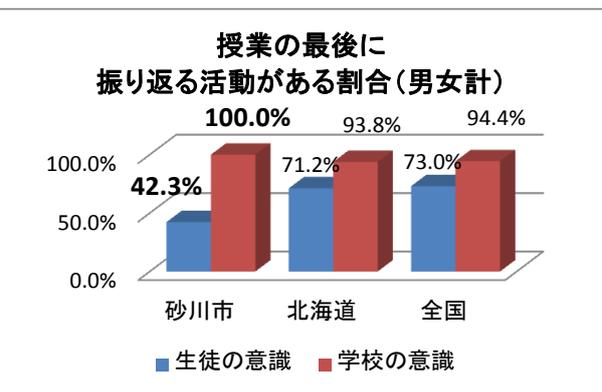
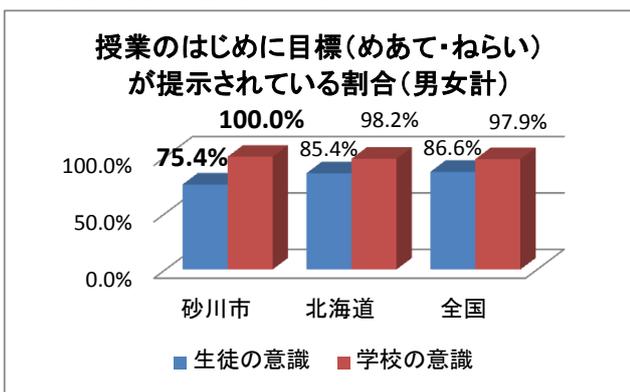
男子生徒の割合 * 複数回答有

友達に教えてもらった	49.0%
授業中自分で工夫した	35.3%
授業中先生に個別にコツやポイントを教えてもらった	27.5%
授業外で自分で練習した	25.5%
先生や友達のまねをした	21.6%
授業外で自分で本やビデオを見た	7.8%
できるようになったことがない	7.8%
自分に合った場やルールが用意された	2.0%
授業中に自分の動きをビデオで見た	0.0%
授業外で先生に教えてもらった	0.0%

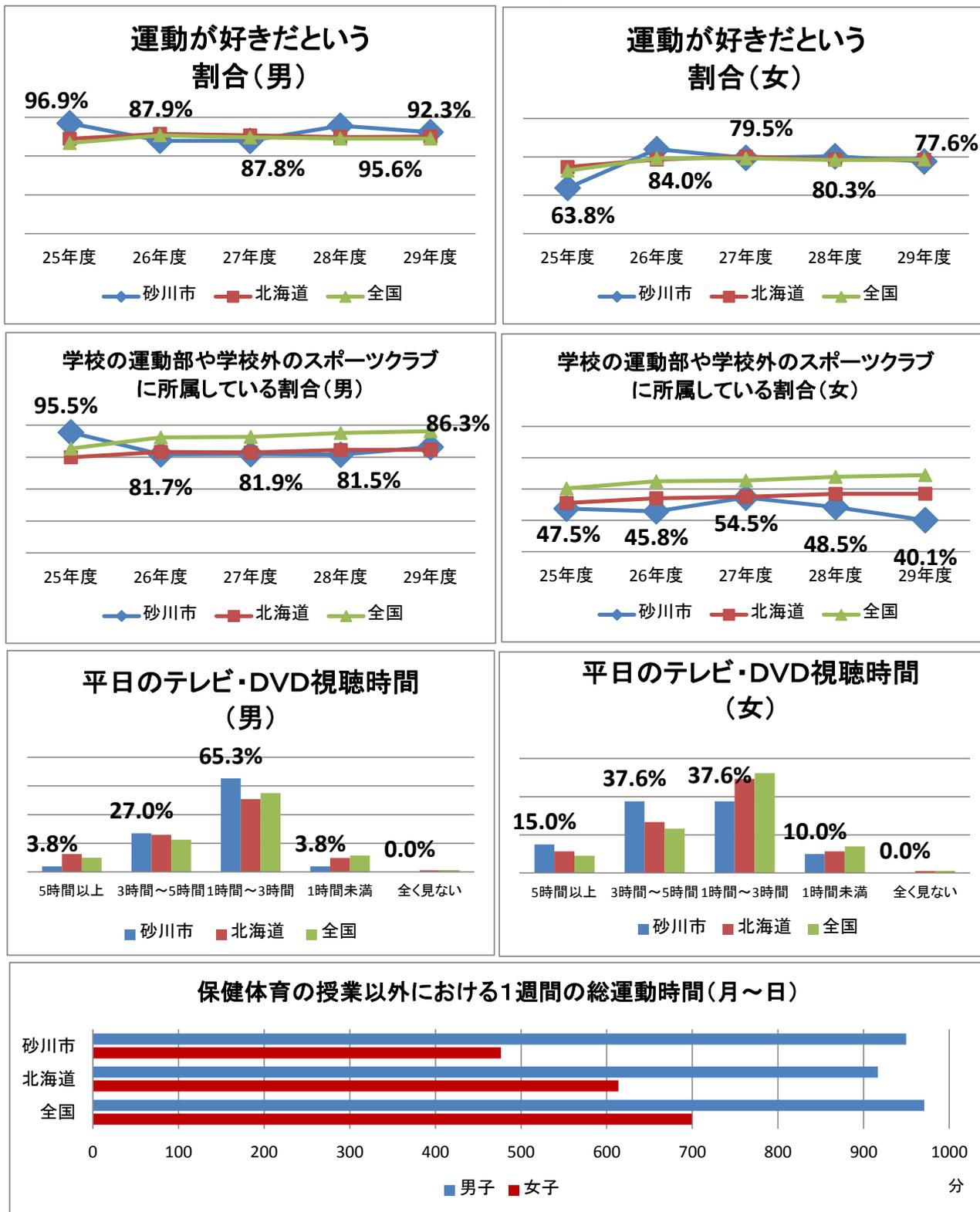
女子生徒の割合 * 複数回答有

友達に教えてもらった	63.6%
授業中先生に個別にコツやポイントを教えてもらった	48.1%
先生や友達のまねをした	39.0%
授業中自分で工夫した	28.6%
授業外で自分で練習した	14.3%
授業外で自分で本やビデオを見た	5.2%
できるようになったことがない	5.2%
自分に合った場やルールが用意された	3.9%
授業中に自分の動きをビデオで見た	1.3%
授業外で先生に教えてもらった	1.3%

3 保健体育の授業の内容について



4 からだを動かす遊びを含めた運動やスポーツ、生活習慣の状況について



5 分析結果と今後に向けて

- 保健体育の授業中にできるようになったことがないと回答している生徒の割合が、男子で7.8%、女子で5.2%いることから、生徒の運動能力に応じたきめ細かな指導を行うなどの授業の質的改善が必要である。
- 保健体育の授業以外における1週間の総運動時間は、男子は全国平均と同程度であるが、女子については、全国平均を大きく下回っていることから、学校はもとより家庭・地域と連携した運動時間を確保するための取組を推進していくことが必要である。
- 保健体育の授業の終末で振り返る活動があると回答している生徒の割合が全国平均を大きく下回っていることから、定着や振り返りの時間を十分に確保した授業の質的改善が必要である。